

ゆうゆう 100 S T A G E

京都〈ゆうゆうの里〉

〒611-0022 宇治市白川鍋倉山14-1
☎ 0120-8739-65



〈NO.86・季刊〉
発行/2017年8月1日

20周年記念行事

これまでの歩みを分ち合う

ゆうゆうの里を運営する日本老人福祉財団は昭和48年12月に設立されました。そして、平成9年10月1日に7番目の施設として、京都〈ゆうゆうの里〉が誕生しました。今回は、20周年記念行事についてご紹介させていただきます。

委員会の取り組み

20周年を迎えるにあたり、ご入居者と各課職員で、20周年記念行事実行委員会を立ち上げました。この委員会の目的は、この一年を20周年記念行事期間と位置づけ、これまでの歩みを感じることができ期間にすることです。ご入居者には、歴史に裏付けられた「安心ある高齢者コミュニティ」であることを実感し、100人1000様の価値ある暮らしを更に確かなものにして頂きたいと思えます。

これまでの記念行事

6月には「里内歴史探索」を実施しました。広大な敷地内をご入居者とともに歩き、皆さんが知っ



開設当時の真新しい京都〈ゆうゆうの里〉

ている思い出やエピソードを分かれました。ご入居者からは「カラオケルームに福祉公社の事務所があったよ」、「昔は中食堂で夏祭りをしていたわ」、「大食堂と診療所のテレビは初代診療所長の寄贈品なのよ」等々、思い出話に花が咲きました。

また、これからは財団発祥の地、浜松を巡るバスツアーや記念コンサートなどの記念行事が予定されています。

10月1日の開設記念日に向けて

20周年記念誌「あじろぎ」の作成と、ゆうゆう祭の準備が着々と進んでおります。記念誌は、ご入居者の想いの詰まったものにした

いと考え、随筆やエッセイ、作品などを募集しています。

また、今年のゆうゆう祭は、開設20周年を祝う特別な催しになるように、ご入居者と職員が一体となって頑張っております。

20周年記念実行委員

副施設長 後藤 隆



皆さんは20年前、何をしていたか？私は佐倉〈ゆうゆうの里〉

で、研修に来ていた京都施設のオープニングスタッフとともに10周年を迎えようとしていました。その後、佐倉施設で20周年、浜松施設で40周年を経験し、歴史の重みを感じています。この度、20周年という価値ある節目に立ち会えることに喜びと、これまで築いてこられた方々への感謝の気持ちを忘れることなく取り組んでいます。

皆様も20周年を祝う京都〈ゆうゆうの里〉に是非、この機会にお越し下さい。

「もしも」のことを見据えて

河田 榮一郎様(76歳)・三津子様(75歳)



今回はマンションタイプにお住まいの河田様ご夫妻にお話を伺いました。

何が起こるかわからない

(ご主人) 初めはそれほど真剣には考えていませんでした。近所に「大阪ゆうゆうの里」があつて、冷やかし程度に見に行ったのが最初。(笑)

そう笑いながら冗談交じりにお話しくださるご主人様ですが、検討を始めたのは、奥様を思つてのことでした。

(ご主人) そもそも見学に行く動機となつたのは、健康そのものだった妻の入院がありました。私は透析に通っています。今後もし、妻に何かあつて、「自分は透析に行かなくてはならない、だけど当然妻を一人にはできない」とい

う状況になつたら、と現実的に考え始めました。検討していく中で、昔子どもを連れてよく来ていた宇治にも施設があると知り、見学へ行きました。自然豊かで京都市にも出やすいという理由で、ここに決めました。

緑の見える部屋！

お二人のお部屋は、自然を近くに感じることでできる、京都ゆうゆうの里ならではのマンションタイプ。

(お二人) ただのマンションではなくて、部屋からこれだけの緑が見えるところが気に入っています。

そうお話くださった通り、お部屋からは美しい緑を眺めることができ、気持ちの良い風によつて時折鳥のさえずりが聞こえます。



お部屋のベランダにて

自由気ままに

里に来て約2年。里での暮らしぶりについて、お伺いしました。

(奥様) 生活はこれまでとあまり変わりませんね。一軒家からマンションに変わったくらいかな。里バスがあるので、買い物は便利になりました。忘れ物や買い忘れがあつても、すぐ次の便で行けるから。

(お二人) 他にも、里のジムやプールへ通い、最近では太鼓も始めました。また、ほぼ毎日里の自然遊歩道から東海自然歩道へ出て、小1時間程度、歩いています。

ご主人様は数十年以上(！)ウォーキングを続けられているのだとか。無理なく楽しく健康づくりをされているお姿から、お二人らしい自由な生活を垣間見ることができました。



茶畑を見渡せる丘にて
(自然遊歩道)

ご検討中の方へひとこと

若い内に入った方が良いと思います。年をとれば手続きなど諸々のことが難しくなりますから。できる時に、身の回りの整理をすることをおすすめします。

終始冗談を言い合いながらも、お互いを気遣うお二人。これからも仲良く、お二人らしい暮らしを続けていただきたいと思います。



「里内のご入居者の生活をもっと詳しくのぞいてみましょう」
里の喫茶の魅力

「カフェテリア白川」

京都（ゆうゆうの里）には、「カフェテリア白川」と「喫茶だんろ」の2つの喫茶があります。それぞれの特徴や、どういった使われ方をしているかについて、ご入居者のお声を紹介いたします。

時間を忘れてくつろげる場所

「カフェテリア白川」

京都（ゆうゆうの里）の玄関口ともいえる円型の建物のコミュニティセンター棟に、喫茶「カフェテリア白川」があります。店内は明るいフロアーに音楽が流れ、視線を外に向けると里内の景色が見渡せます。

メニューは、コーヒー・紅茶の定番のものからピラフ・カレーなどの軽食に加え、夏季限定の宇治抹茶のかき氷や、里で採れた梅を使った梅ジュース等もご用意しております。



カフェテリア白川

「ひとりでも、友達とでも利用できてくつろげるから、つつい長い居しちゃいます」

「サークルが終わった後や、バスの待ち時間に気軽に寄れます。甘いものが好きなので、ぜんざいやくずきをよく頂いています」

「食堂みたいに時間が決まっていないから、いつでも軽食が食べられます。持ち帰りができるのも嬉しいです。急な来客があった時に、

何か準備をしなくても、白川があるので安心していきます」と、利用目的は皆様それぞれです。

ちょっと一服ほっこりと

「喫茶だんろ」

大食堂を出て右に曲がり、8号棟へ入ってすぐのところに、「喫茶だんろ」があります。カウンターの前には、名前の由来の（暖炉）が据えられています。薪の模型を置いて演出してありますが、実際に薪を燃やして暖をとることもできるようになっていきます。

新聞・雑誌が各種置いてありますので、お茶を飲まれない方でも、お気軽にご利用頂くことができます。カウンターとしての役割もあり、食事の予約・取消や日用雑貨の購入などを、カウンターにいる職員が受け付けてくれます。銀行の出張サービス、パンやローソンの出張販売の場としても利用されています。

「新聞を読んでいる間や銀行の出張サービスを待っている間に、

コーヒーが飲めるし、日用品やおやつがすぐに買えるから便利ですよ」

「入居者同士でよくだんろに集まって、楽しくお話しをしています。いつも職員さんが笑顔で元氣よく接してくれるので、居心地が良くて何でも話せます」と、コミュニケーションをとる場として利用されている方も多いようです。



喫茶だんろ

それぞれ違ったあじわいのある里の喫茶。見学や体験入居された際に、是非一度、お茶を飲みに寄られてみてはいかがでしょうか？

1号棟1階のEタイプ

2部屋売り出し中!

広々として開放的なテラス型居室、1号棟1階のEタイプ2部屋を今年の4月から販売しております。1号棟は、大浴場、プールやアスレチックジムなどの共用施設が集まるCC棟に近いため、生活を積極的に楽しむことのできる、便利な場所に位置しています。ライトコートのあるEタイプのお部屋で、体験入居してみませんか。里の様子や夏の暑さなどを体感しに、ぜひお越しください。



1号棟1階居室前のプライベートテラス



温水プール
(さわやかアクア)



1103号室・1104号室 Eタイプ(60.06㎡・2LDK)
一人入居…3,750万円 二人入居…5,079万円

体験入居の費用

- ・お一人様 三〇〇〇円(税込み)
- ・1泊2日 (夕食・朝食付)

お部屋には、浴衣・タオル類・洗面道具一式をご用意しております。2〜3泊することも可能ですので、是非、お気軽に体験入居にお越しください。(事前申込が必要です)

最寄り駅より、里のマイクロバスが運行しておりますのでご利用ください。詳しくは、お申込み時にご確認ください。

バス見学会のご案内

左記の通り、バス見学会を開催します。

ぜひ皆さまお誘い合わせの上、ご参加下さい。

日時 / 9月9日(土)

10月4日(水)・22日(日)

11月9日(木)

集合 / ●四條烏丸コース(京都駅経由) ●

四條烏丸交差点付近 午前9時40分

京都駅八条口・ホテル京阪前【経由】

午前9時55分

●宇治コース●

近鉄大久保駅前 午前10時15分

JR宇治駅前【経由】

午前10時30分

京阪宇治駅前【経由】

午前10時35分

参加費 / お一人様一〇〇〇円(昼食付)

定員 / 四條烏丸・宇治コースとも各25名

(事前申込が必要です)

お申し込み・お問い合わせは

0120-8739-65

京都へゆうゆうの里まで